
MAKING THE IMAGE INTELLIGENT



2025年3月期 第2四半期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2024年11月12日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1 2025年3月期 第2四半期 決算説明

2 2025年3月期 通期業績予想

3 課題と取り組み

1 2025年3月期 第2四半期 決算説明

2 2025年3月期 通期業績予想

3 課題と取り組み

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場, 2022年4月東証グロース移行)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長兼社長CEO 山本 達夫
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2024年3月31日現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

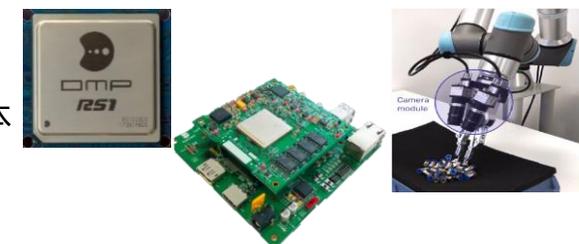
IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



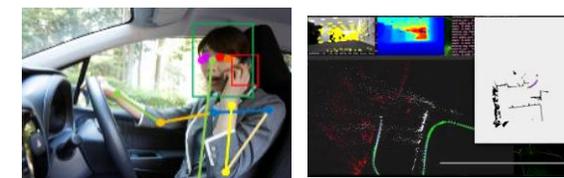
製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・協働ロボット向けビジョンシステム
- ・ドローン向けカメラモジュール



プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・安全運転支援システム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



- 売上高は増収、過去最高を更新
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は増益
- アミューズメント分野売上高は継続的に伸長。非アミューズメント分野売上高は、主にCambrian製品の一時減、GPU IPメンテナンスサポート収入減により減収

全社	事業別売上高	分野別売上高	
売上高	IPコアライセンス	セーフティ	ロボティクス
1,535 百万円 (YoY※ +6.5%)	48 百万円 (YoY Δ 48%)	20 百万円 (YoY Δ 39%)	62 百万円 (YoY Δ 10%)
経常利益	製品	アミューズメント	その他
143 百万円 (YoY +2.2%)	1,431 百万円 (YoY +10%)	1,420 百万円 (YoY +13%)	30 百万円 (YoY Δ 62%)
	プロフェッショナルサービス		
	55 百万円 (YoY +18%)		

※ YoY (Year on Year) : 前年同期比

主にアミューズメント分野の伸長により増収増益

(単位：百万円)	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	増減額
売上高	1,442	1,535	+93
営業利益	134	144	+9
経常利益	140	143	+3
親会社株主に帰属 する中間純利益	121	121	+0

- アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の堅調な出荷により、売上高は6.5%増収
- 営業利益は前年同期比+7.3%、経常利益前年同期比+2.2%、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比+0.3%とそれぞれ増益

● 事業別売上高

IPコアライセンス事業 **48百万円** 前年同期 94百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、セーフティ分野/ロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンス・サポート収入等を計上
- 前年同期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

製品事業 **1,431百万円** 前年同期 1,301百万円

- RS1の量産出荷、Cambrianビジョンシステム等の売上を計上

プロフェッショナルサービス事業 **55百万円** 前年同期 46百万円

- AI受託開発サービス、アミューズメント向け受託開発サービス収入を計上
- より広範なセーフティ分野向け、ロボティクス分野では、半導体製造装置/建設機械向けプロフェッショナルサービスを提供

● 分野別売上高

セーフティ分野 **20百万円** 前年同期 34百万円

- ドライブレコーダー関連のリカーリング収益（ランニングロイヤリティ、サブスクリプションフィー）、メンテナンスサポート収入、プロフェッショナルサービス収入を計上

ロボティクス分野 **62百万円** 前年同期 69百万円

- プロフェッショナルサービス売上、Cambrianビジョンシステム等の製品売上等を計上

アミューズメント分野 **1,420百万円** 前年同期 1,257百万円

- 主にRS1の量産出荷売上を計上

その他分野 **30百万円** 前年同期 80百万円

- デジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ、メンテナンスサポート収入等を計上
- 前年同期のGPU IP大型メンテナンス・サポート案件が剥落

自己資本比率は88.9%と高水準を維持

(単位：百万円)		2024年 3月末	2024年 9月末	増減額	主な増減要因
	流動資産	3,272	3,291	+18	売掛金及び契約資産 +63 たな卸資産 +51 有価証券 △100
	固定資産	647	730	+83	投資有価証券 +95 有形/無形固定資産 △11
資産合計		3,919	4,022	+102	
	流動負債	443	428	△14	未払金 △47 未払消費税等 △40 未払法人税等 △14 買掛金 +95
	固定負債	18	18	+0	
負債合計		461	447	△14	
純資産合計		3,457	3,574	+117	利益剰余金 +121
負債・純資産合計		3,919	4,022	+102	

1 2025年3月期 第2四半期 決算説明

2 2025年3月期 通期業績予想

3 課題と取り組み

5月14日公表の通期業績予想に変更なし

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期	
		通期予想	増減率
売上高	3,016	3,200	+6.1%
営業利益	328	350	+6.5%
経常利益	330	350	+5.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	331	290	△12.5%

- 中間期は主にアミューズメント市場が堅調に推移したことにより、売上高は過去最高を更新し、各段階利益は前年同期比増益を達成
- 第3四半期以降、アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、セーフティ分野におけるライセンス収入、プロフェッショナルサービス収入の拡大 及び ロボティクス分野における製品事業、プロフェッショナルサービス事業の拡大を見込む

1 2025年3月期 第2四半期 決算説明

2 2025年3月期 通期業績予想

3 課題と取り組み

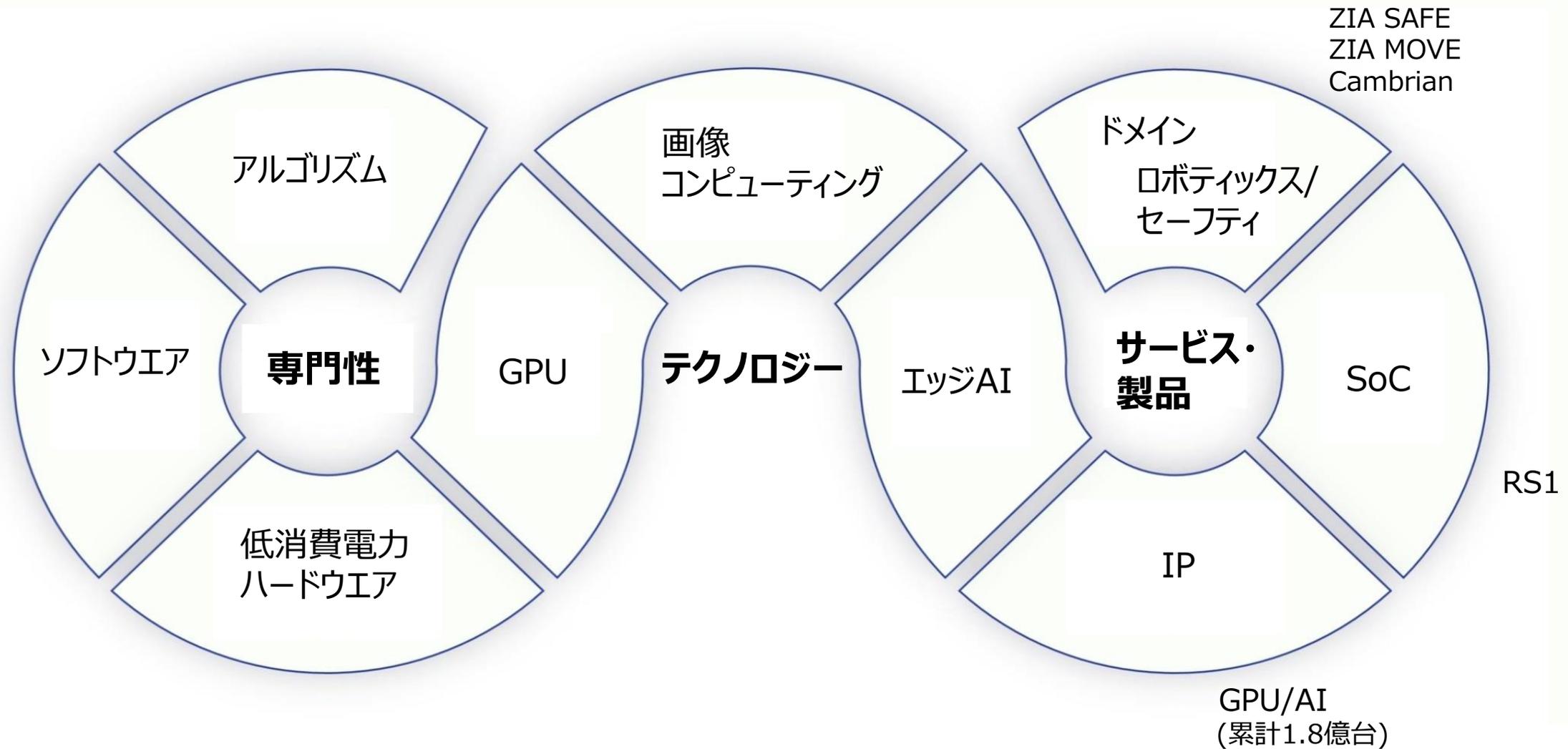
Making the Image Intelligent

画像を智能化する

"To create innovative products and services that harness the power of image intelligence to solve real-world problems and drive value for our stakeholders."

画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造する





- RS1の堅調な出荷継続
- iCatchとエッジAIソリューション開発で戦略的パートナーシップを締結
- 次世代AI IP A3000 V2の発表
- Cambrian Vision Systemパートナー連携強化

遊技機業界

- スマートパチスロがホールの期待に応え好調な稼働を継続、市場環境は良好

RS1関連

- 堅調な出荷継続、売上高前年同期比 113%
- 主にZEEG社共通筐体を通じRS1シェア拡大、パチスロメーカー7社に採用。2024年採用9機種※
- ソフトウェア更新による継続的な機能強化を実施
- 周辺機器含むトータルソリューションを提案

※ 2024年11月11日現在 (<https://www.zeeg.jp/product/>)



アミューズメントSoC RS1

業界初 リアルタイム3Dエンジンと高性能・高圧縮動画エンジンをワンチップ化



DMP×iCatch:エッジAIカメラ開発を加速する ハードウェアとソフトウェアをワンストップで提 供、開発者の負担を大幅削減

デジタルメディアプロフェッショナル（DMP）と台湾iCatch TechnologyはエッジAIカメラソリューションで協業を開始した。DMPのAI認識モデルとiCatchのイメージングSoCを組み合わせ、ハードウェアとソフトウェアをワンストップで提供する。これにより、開発者はハードとソフトの個別調達や動作検証の手間を大幅に削減でき、開発期間の短縮とコスト削減が可能になる。自動車、セキュリティカメラ、ロボティクスなど幅広い分野での活用が期待される。

PR/ITmedia | 2024年10月01日 10時00分 公開

- 創業の2009年ファブレス半導体ベンダー、本社は台湾 新竹市
- 車載カメラ、セキュリティカメラ、ドローン、アクションカメラなど幅広い分野向けに高性能イメージングSoC、及び画像信号処理（ISP）チップを提供
- 自動車安全規格 ISO26262、AEC100、ASILに適合
- DMP GPU IP搭載イメージングSoCを出荷中（累計出荷実績約3百万個）



オートモーティブ



ホームセキュリティ

セキュリティ



オートモーティブ
(ADAS/DMS)



ロボティクス



OEM /
システム
インテグレータ



DMP

- AIソフトウェア
- ハードウェアモジュール
- プロフェッショナルサービス



AIイメージング SoC
ISP (自動車安全規格準拠)

ADAS 安全運転支援

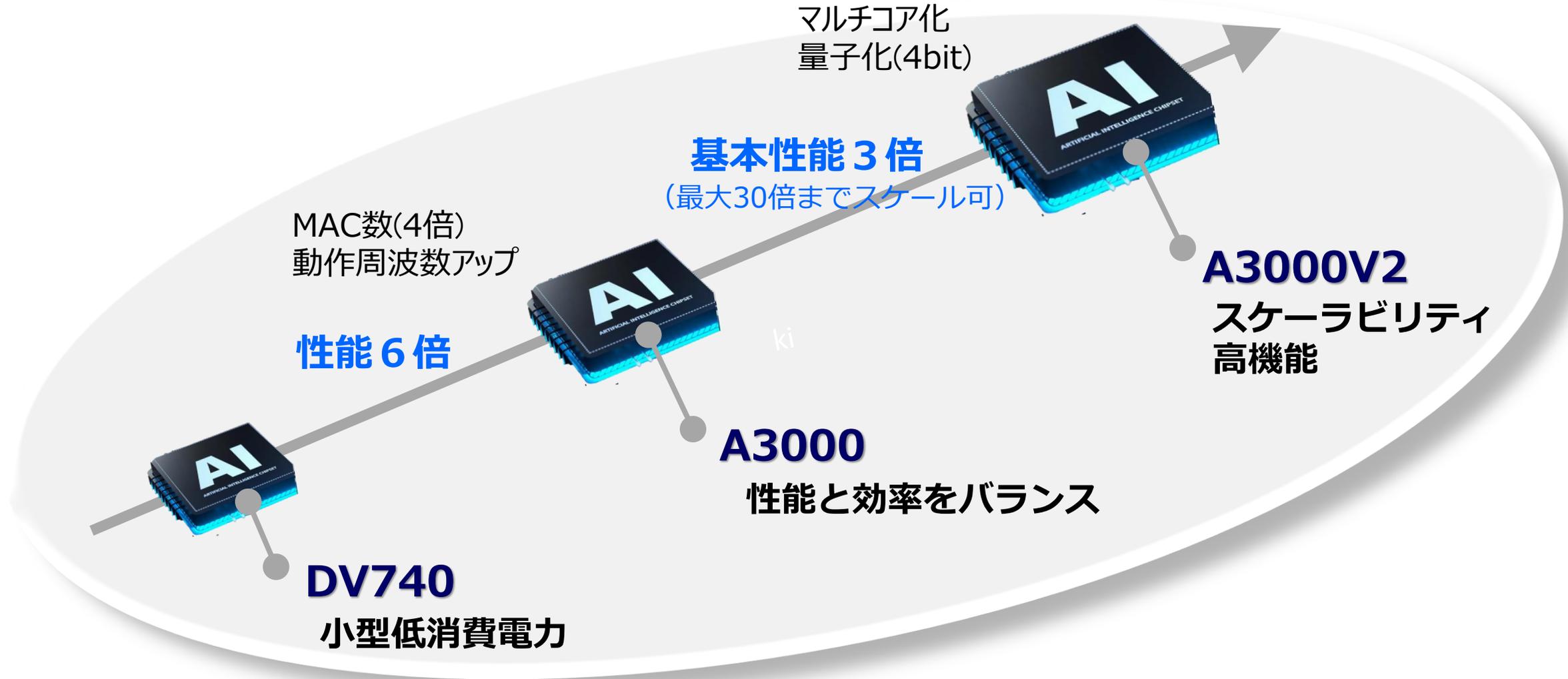
- 🗨️ 車両/歩行者距離検出
- 🗨️ 信号機/標識検出
- 🗨️ トラフィックとガードレール検出



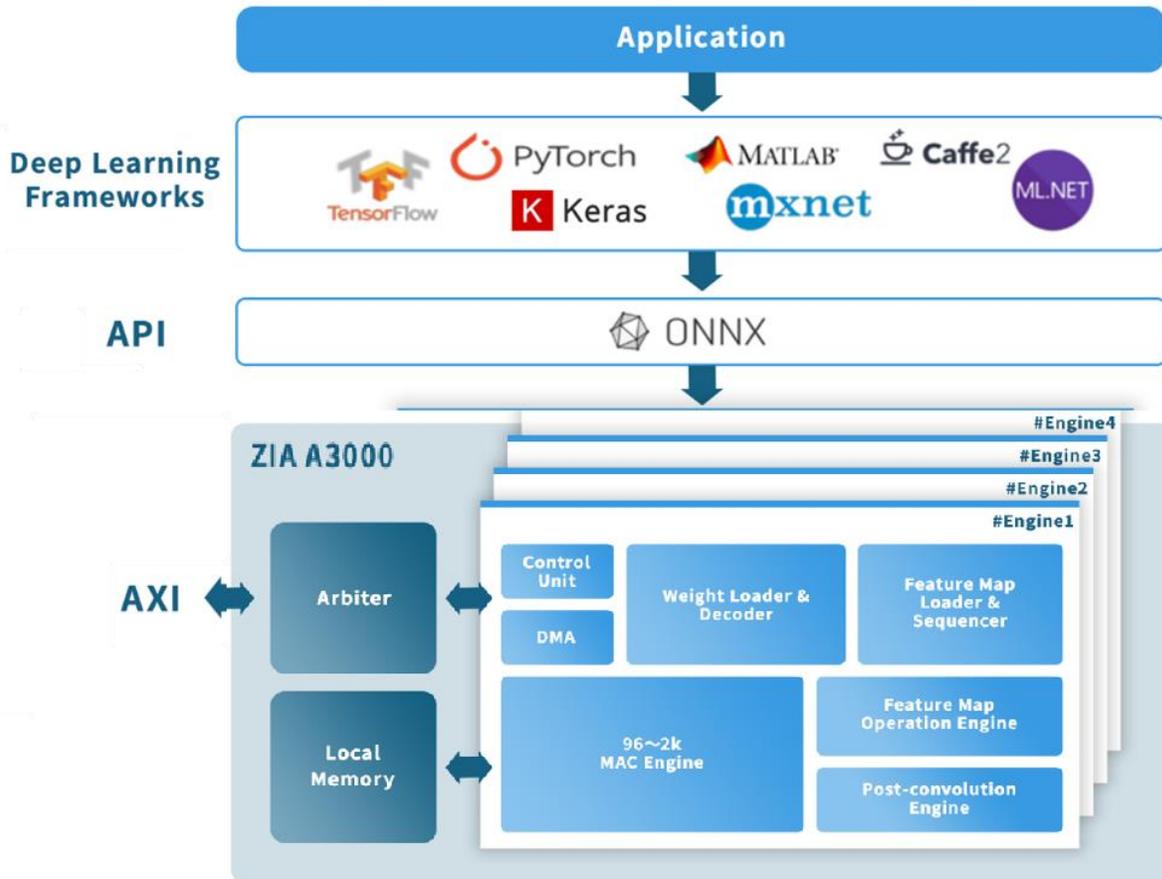
ドライバーモニタリング

- 🗨️ 視線検出
- 🗨️ 居眠り、喫煙、スマホ
- 🗨️ 不注意





スケーラブル、使いやすさと機能・性能・効率のバランス



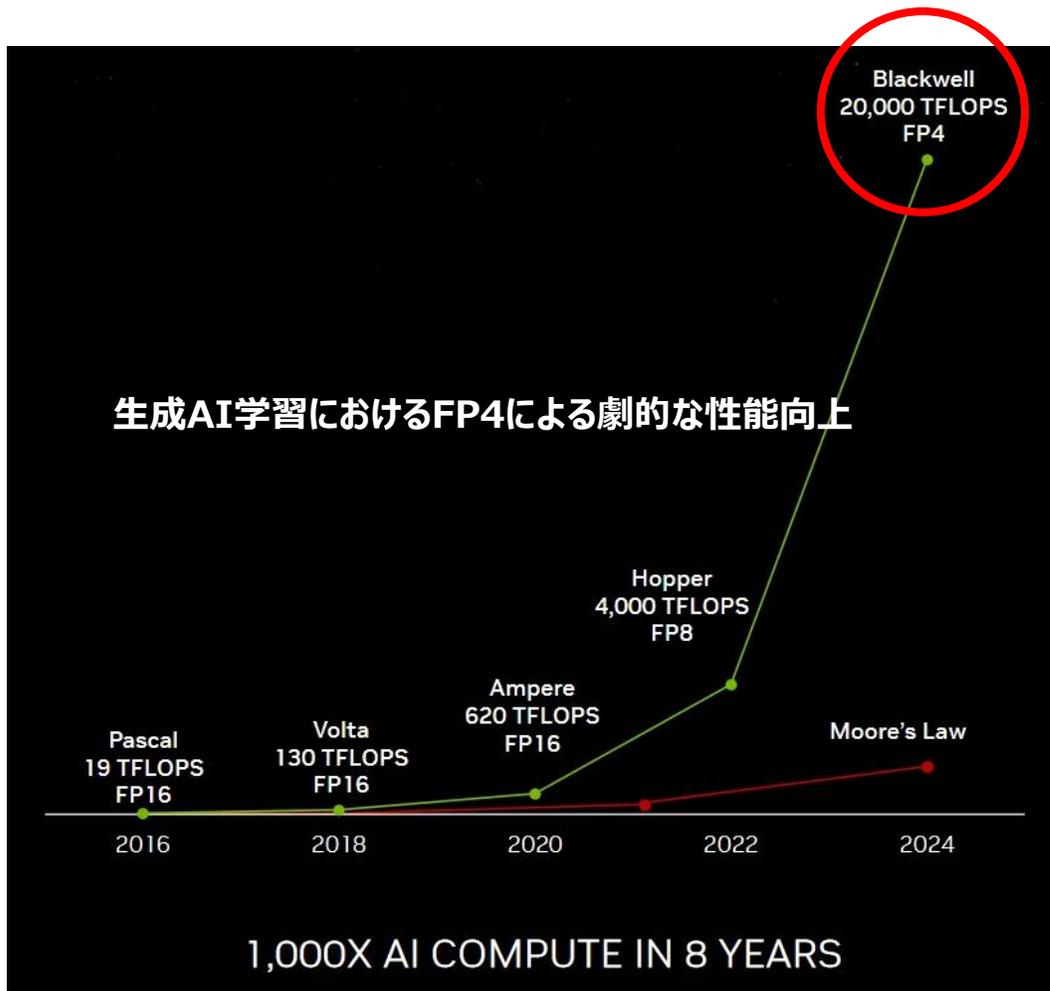
スケーラブルなMAC数とマルチコア構成による拡張性
2 - 40TOPS - DV740の約30倍の性能実現

幅広いデータフォーマットサポートによる量子化・混合精度による性能の最適化 (FP16/INT8/INT4/FP4)

PyTorch, TensorFlowのサポートとONNXサポート
レイヤー増加による幅広いモデルへの対応

ハードウェア加速による高速推論処理、アクティブ
パワーマネージメントにより高速、低消費電力処理

豊富なサンプルソースコード、プロファイラツール整備
により使いやすさを向上



出典：2024 Nvidia GTC Conference

Nvidia の最新AIプロセッサーBlackwell で採用されたFP4 (※1)を業界初(※2)エッジ AI推論プロセッサーに実装

- 処理性能の大幅な向上
- メモリー帯域や電力を抑えながら高速推論実現
- モデルサイズを大幅縮小
- 最適化技術により高い精度を維持

※1：4ビット浮動小数点演算

※2：当社調べ

オートモーティブ

- 高度運転支援システム
- ドライバーモニタリング

コンシューマ

- 家電製品
- AR/VRヘッドセット
- スマートホームデバイス

顧客エッジAIチップ



A3000 V2 推論AIプロセッサ

高性能AIカメラシステム

- 監視・防犯カメラ
- スマートシティ

ロボティクス

- 産業ロボット
- サービスロボット
- 自律走行ロボット

Cambrian vision system

ロボットアームに搭載するAI
ベースの高性能ビジョンシステム

半透明や光沢のある
ワークを高速で認識



ロボットテクノロジー展ジャパン2024で各社が Cambrianビジョンシステムを展示

産業用ロボット・自動化システムの専門展

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

ロボットテクノロジー展

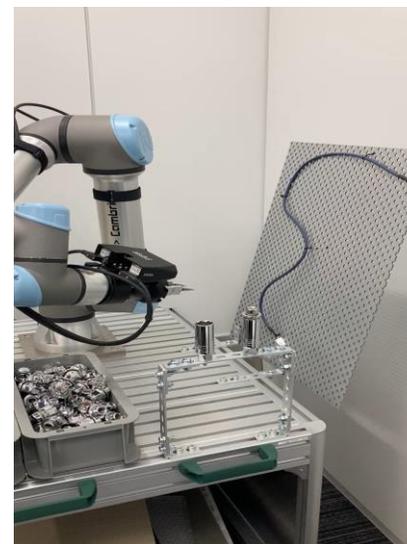
2024.7.4(木)-7.6(土)



DENSO



透明/鏡面物ピックアップ



ケーブルハンドリング



小パーツ/透明/光沢ワークピックアップ

- ZIA MOVEベース自動搬送ロボットのデプロイメントに向け製造大手と協業
- 半導体製造装置大手向け受託開発を推進中
- 工作機械大手と自動化ソリューションの共同開発中



製造ライン



工作機械



倉庫物流



半導体製造ライン

Making the Image Intelligentのパーパスのもとビジネスを加速

- RS1 及び Cambrianビジョンシステム製品ビジネスの促進
- エッジAIのコア技術 及び ソリューション開発への注力
- iCatch Technology社との協業などによるプロフェッショナルサービス事業の強化
- 新たなAI画像認識技術による成長分野の取り込み
- ロボティクス注力分野絞り込み、関連商材の発掘

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。